

2022年12月2日  
〈プレスリリース資料〉

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州  
「サンパウロ市児童養護施設増築計画」に係る  
草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式について

在サンパウロ日本国総領事館

11月30日（水）午前10時00分、「バリーニョス市障害者支援施設改修計画」に係る「バリーニョス障害者を支える親と友の会」に対する我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式を同施設において行いました。

- 1 バリーニョス市障害者支援施設は、バリーニョス市を中心に、約400名の身体障害、知的障害を持つ患者を無償で受け入れています。食堂、入浴介助施設等のデイケアサービス施設、リハビリテーションルームやプール等のセラピー施設を有し、家族が日中仕事で家にいない時の患者の受け入れ先として、地域で重要な役割を担っています。
- 2 日本政府は、当該施設の重度の障害を持つ患者のケアを行うデイリーケアユニットのオープンに必要なスロープへの屋根設置工事、車椅子対応車両1台、感覚統合訓練器具1台、医療用ベッド及びマット8台、医療用酸素ガスシリンダー2本の整備に対し、45,882米ドルを限度に無償資金協力を行うことを決定していました。本件協力により、重度の知的・身体障害を有する患者の受け入れ態勢の整備が可能となり、地域医療サービスの向上が見込まれます。
- 3 式典には桑名良輔在サンパウロ日本国総領事及びルイス・ロベルト・ロソン／バリーニョス障害者を支える親と友の会理事長、ルシマーラ・ゴドイ／バリー

ニョス市長ほか約80名が出席しました。桑名総領事からは本件協力が400名を超える施設利用者の役に立つことを期待する旨祝辞を述べました。これに対し、ロソン理事長からは感謝の意が表されました。

(参考) 案件の基本情報

案件名： バリーニョス市障害者支援施設改修計画

被供与団体： バリーニョス障害者を支える親と友の会

プロジェクト実施地： サンパウロ州バリーニョス市

契約書署名日： 2021年3月22日

供与限度額： 45,882米ドル

供与品目： 重度の障害を持つ患者のケアを行う施設（デイリーケア・ユニット）サービス開始に必要な工事及び備品の購入（①車椅子用スロープの屋根取り付け工事、②7人乗りバンの購入及び車椅子移送車への改造、③感覚統合訓練器具、④医療用酸素ガスシリンダー、⑤医療用ベッド及びマット）

（問合せ先） 在サンパウロ日本国総領事館経済班

(11) 3254-0100

[cgjeconomia2@sp.mofa.go.jp](mailto:cgjeconomia2@sp.mofa.go.jp)

(了)

【供与式の様子】



【感覚統合訓練器具】



【車椅子対応車両】



【医療用酸素ガスシリンダー】



【医療用ベッド及びマット】



【スロープの屋根】

